



エコアクション21

認証番号 0013151

エコアクション21

環境経営レポート

2023年度版

(2023年4月-2024年3月)



OUTLANDER

発行日: 2024 年 6 月 30 日



MITSUBISHI
MOTORS

Drive your Ambition

三重三菱自動車販売株式会社

目 次

1.	組織の概要	P. 1
2.	環境経営方針	P. 2
3.	推進体制	P. 3
4.	環境経営目標	P. 4
5.	環境経営計画	P. 5
6.	環境経営目標とその実績	P. 6
7.	環境経営計画の取り組み結果、評価及び今後の取り組み	P. 7
8.	環境関連法規制の順守状況の確認及び評価結果 並びに違反、訴訟等の有無	P. 9
9.	代表者による全体評価と見直し	P. 10

1. 組織の概要

(1) 事業所名及び代表者氏名

三重三菱自動車販売株式会社
代表取締役社長 出口 哲也

(2) 所在地及び他店舗

本社	〒510-8550	三重県四日市市新正4丁目9番28号	059-351-7522
桑名江場店	〒511-0834	三重県桑名市大福字寺跡468番地の1	0594-21-4865
員弁東員店	〒511-0241	三重県員弁郡東員町鳥取365番地の1	0594-76-7766
四日市新正店	〒510-8550	三重県四日市市新正4丁目9番28号	059-352-9191
鈴鹿中央通り店	〒513-0809	三重県鈴鹿市西条6丁目69番地	059-382-6161
名張田原店	〒518-0602	三重県名張市東田原2614番地の1	0595-65-4755
津岩田店	〒514-0838	三重県津市岩田20番1号	059-226-0151
松阪船江店	〒515-0812	三重県松阪市船江町字道慶田680番地の1	0598-51-3477
伊勢小俣店	〒519-0506	三重県伊勢市小俣町湯田597番地の1	0596-22-3121
尾鷲矢浜店	〒519-3633	三重県尾鷲市矢浜2丁目14番44号	0597-22-9935
CC四日市	〒510-8550	三重県四日市市新正4丁目9番28号	059-351-8585
鈴鹿物流センター	〒513-0837	三重県鈴鹿市八野町字鷲ヶ砂77番1号	059-379-3637

(3) 環境保全関係の責任者氏名及び担当者

代表責任者	代表取締役社長 出口 哲也
環境管理責任者	取締役管理部長 辻 弘哉
拠点代表責任者	各拠点 店長もしくはセンター長
拠点環境管理責任者	各拠点 サービスマネージャー（サービスマネージャー不在の場合は課長）

(4) 対象範囲

全組織、全従業員、全ての活動を対象とする

(5) 事業内容

新車・中古車・部品の販売、自動車整備業、保険代理店業務、自動車リース・レンタカー事業

(6) 事業の規模

全社	合計
従業員数	149 名
延べ床面積	9,076 m ²

	本社	桑名江場店	員弁東員店	四日市新正店	鈴鹿中央通り店	名張田原店
従業員数	26 名	15 名	8 名	22 名	14 名	9 名
延べ床面積	264 m ²	671 m ²	590 m ²	2,464 m ²	1,157 m ²	565 m ²

	津岩田店	松阪船江店	伊勢小俣店	尾鷲矢浜店	CC四日市	鈴鹿物流センター
従業員数	15 名	11 名	8 名	5 名	2 名	14 名
延べ床面積	1,220 m ²	622 m ²	建替工事中	428 m ²	55 m ²	1,040 m ²

2. 環境経営方針

□ 環境経営方針 □

【企業理念】

「お客様のために」を基本に、車を通じて地域社会の環境と豊かな生活に貢献する

【基本方針】

当社は環境に貢献する企業として、下記の環境保全活動を推進することにより、環境負荷の低減を図り、自然と共生できる社会の創造に努めます。

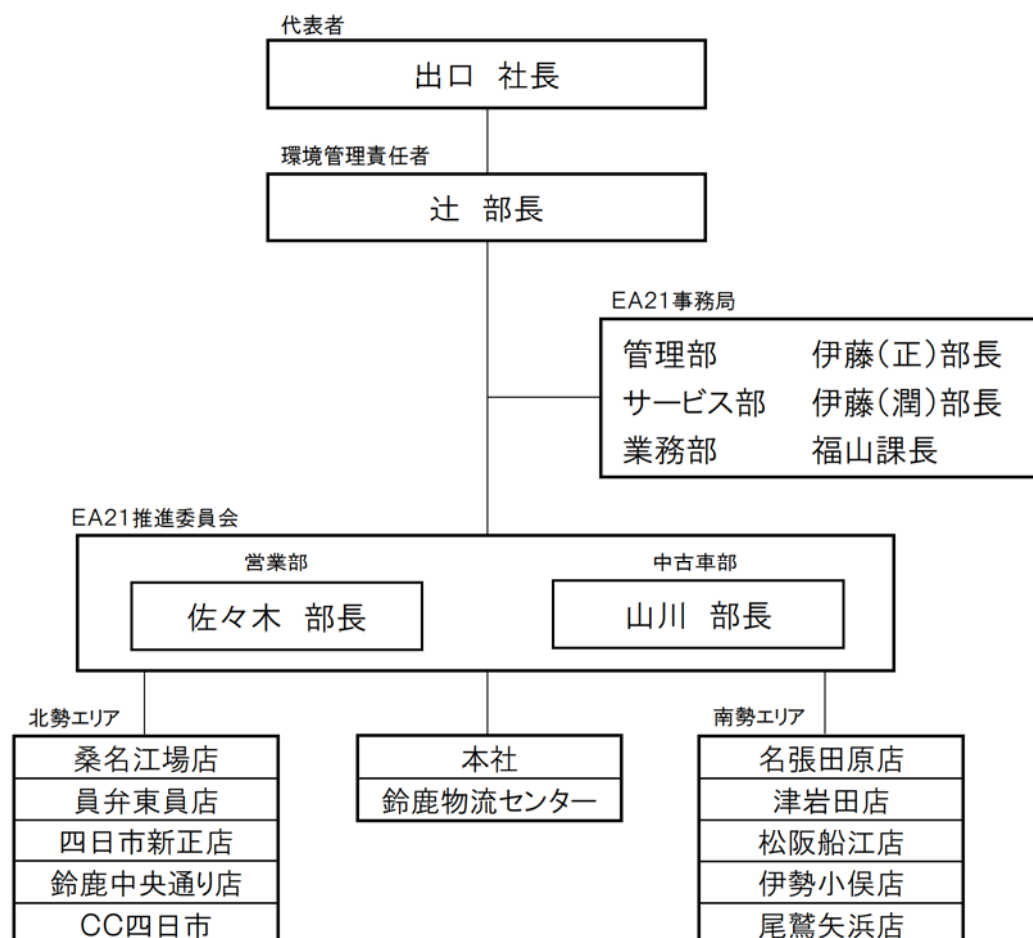
1. エネルギー使用(電力・燃料)の節電・省エネに努め、その使用量を削減し、二酸化炭素の排出量を削減します
2. 水資源の節水に努め、使用量を削減します
3. 一般廃棄物・産業廃棄物の分別・リサイクルに努め、排出量の削減及び適正な処理をします
4. 化学物質(塗料・洗浄剤等)の適正管理に努めます
5. 環境に配慮した自動車の積極的販売に取り組みます
6. 環境に関する法令・規則等を遵守します
7. 周辺環境の維持・改善に努めます

この環境経営方針並びに環境経営レポートを全社員に周知し、常に環境保全に取り組む活動に努めます。

2019 年 10 月 1 日策定
三重三菱自動車販売株式会社
代表取締役 出口 哲也

3. 推進体制

三重三菱自動車販売株式会社 エコアクション21 推進体制(組織図)



	EA21の役割・責任・権限
代表者(社長)	環境管理経営方針の策定・見直し及び全従業員への周知
	環境経営システムの実施及び管理に必要な資源(人員・設備・費用等)の準備
	環境管理責任者の任命
	代表者による全体の評価と見直しを実施
環境管理責任者	環境経営システムを構築、運用
	外部等からの苦情の受付
	環境経営計画の取り組み結果を代表者に報告(環境経営活動レポートの作成)
EA21 事務局	環境関連文書・記録の作成・管理等
	環境経営活動計画の実施状況の確認
営業部長 中古車部長 サービス部長	環境経営目標及び環境経営計画の実施・確認・評価、達成状況の報告
	実施上の問題点の是正・予防措置の実施
	外部環境情報の窓口
全従業員	環境経営方針を理解し、環境への取組みの重要性を自覚する
	EA21で決められたことを守り、自主的・積極的に活動に参加

4. 環境経営目標

当社における 2020 年度(2020 年 4 月 1 日から 2021 年 3 月 31 日)実績に基づき 2022 年度から 2024 年度までの目標を 2022 年 2 月に下記の通り定め、2022 年 4 月より活動を開始しました。

- *1 電力使用量 CO2 排出係数は 2020 年度中部電力ミライズ(株)実績値 0.379 kg-CO2/kWh を使用しています。
- *2 化石燃料使用量 CO2 排出係数は、ガソリン 2.32 kg-CO2/ℓ、軽油 2.58 kg-CO2/ℓ を使用しています。

	単位	基準年度	年度目標		
		2020 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
			基準年度比 99%	基準年度比 98%	基準年度比 97%
電力使用量の削減	KWh	678,217	671,435	664,653	657,870
二酸化炭素排出量(*1)	Kg-CO2	257,044	254,474	251,903	249,333
化石燃料使用量の削減	ℓ	133,215	131,883	130,551	129,219
二酸化炭素排出量(*2)	Kg-CO2	317,208	314,036	310,864	307,692
ガソリン使用量の削減	ℓ	101,872	100,853	99,835	98,816
二酸化炭素排出量	Kg-CO2	236,343	233,980	231,616	229,253
軽油使用量の削減	ℓ	31,343	31,030	30,716	30,403
二酸化炭素排出量	Kg-CO2	80,865	80,056	79,248	78,439
上記 2 項目 二酸化炭素排出量の削減	Kg-CO2	574,252	568,510	562,767	557,025
水道使用量の削減	m ³	6,270	6,207	6,145	6,082
化学物質の適正管理			適正	適正	適正
一般廃棄物の削減 (注)	枚	481,879	477,060	472,241	467,423
産業廃棄物の削減	Kg	177,001	175,231	173,461	171,691
環境配慮型車両の販売増加 PHEV、EV 車両販売台数	台数	53	PHEV、EV 車両 販売促進	PHEV、EV 車両 販売促進	PHEV、EV 車両 販売促進

* ガス(LPガス・都市ガス)については、微量につき本対象外とします。

(注) 一般廃棄物に関しては、「コピー用紙」の削減を環境経営目標としました。

5. 環境経営計画

2023 年度(2023 年 4 月～2024 年 3 月)の経営環境計画

環境経営目標項目		取組内容
二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減	エアコン室温管理(夏:26～28 度、冬:18～20 度)
		OFF 時間を設ける(冷房:涼しい朝・夕・夜) (暖房:暖かい日中)
		エアコンフィルターの清掃(毎月第1金曜日)
		トイレの温便座・温水のOFF(5 月～10 月)
		トイレの便器の蓋を閉める(11 月～4 月)
		パソコン未使用 90 分以上なら、OFF(それ以下ならスリープ)
		使用場所、業務時以外の消灯・モニターOFFの徹底
		業務の平準化による時間外勤務の削減
	化石燃料使用の削減	エコドライブの実施
		引き取り納車の削減
		借上車の「私用」利用時には、自身で給油
		PHEV 社有車へのこまめな充電の実施
水使用量の削減	節水の呼びかけによる意識の向上	
	漏水の有無の定期的な点検	
	洗車時、洗濯時の節水	
	入庫車両への過剰洗車を行わないよう徹底	
化学物質の適正管理	化学物質の取扱量の適正管理	
	有機溶剤等使用の注意事項の遵守	
一般廃棄物の削減	資料の削減・ペーパーレス化による紙使用量の削減	
	コピー機の効率運用(両面コピーなど)による紙使用量の削減	
	紙ゴミのリサイクル処理による廃棄量の削減	
産業廃棄物の削減	資源ごみの分別の徹底	
	産廃コンテナの整理整頓	
	マニフェストの管理	
環境配慮型車両の販売台数増加	営業スタッフの商品知識の向上	
	環境イベント等積極的な参加・出展	

取組みは全社員にて行うこととします。

6. 環境経営目標とその実績

当社における2020年度(2020年4月1日から2021年3月31日)実績に基づき2022年度から2024年度までの目標を2022年2月に下記の通り定め、2023年4月より活動を開始しました。

- *1 電力使用量 CO2排出係数は2024年度中部電力(株)(調整後)0.382 kg-CO2/kWhを使用しています。
- *2 化石燃料使用量 CO2 排出係数は、ガソリン 2.32 kg-CO2/ℓ、軽油 2.62 kg-CO2/ℓを使用しています。

	単位	基準年度	2023 年度 目標	2023 年度		
		2020 年度	(基準年度比 99%)	実績	年度目標比	評価 (注2)
電力使用量の削減	KWh	678,217	664,653	654,618	98.0	○
二酸化炭素排出量(*1)	Kg-CO2	257,044	251,903	250,064	99.3	○
化石燃料使用量の削減	ℓ	133,215	130,551	123,921	94.9	○
二酸化炭素排出量(*2)	Kg-CO2	317,208	310,864	297,641	95.7	○
ガソリン使用量の削減	ℓ	101,872	99,835	90,102	90.3	○
二酸化炭素排出量	Kg-CO2	236,343	231,616	209,036	90.3	○
軽油使用量の削減	ℓ	31,343	30,716	33,819	110.1	×
二酸化炭素排出量	Kg-CO2	80,865	79,248	88,606	111.8	×
上記 2 項目 二酸化炭素排出量の削減	Kg-CO2	574,252	562,767	547,705	97.3	○
水道使用量の削減	m ³	6,270	6,145	5,152	83.8	○
化学物質の適正管理			適正管理	適正管理		○
一般廃棄物の削減(注1)	枚	481,879	472,241	417,050	88.3	○
産業廃棄物の削減	Kg	177,001	173,461	106,860	61.6	○
環境配慮型車両の販売増加 PHEV、EV車両販売台数 (注3)	台数	53	PHEV、EV 車両 販売促進	306		○

(注1) 一般廃棄物については「コピー用紙」削減を環境経営目標としました。

(注2) 評価につきましては以下の基準にて行いました。

○目標達成 2023 年度比 100%以下

△目標未達成 2023 年度比 100%超 ～ 103%未満

×目標未達成 2023 年度比 103%以上

(注3) 販売台数評価については、基準年度実績以上の場合○、未満の場合×とします。

7. 経営計画の取り組み結果と評価、今後の取り組み

2023年4月～2024年3月

環境経営目標項目		取組内容	評価	評価と今後の取組内容
二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減	エアコン室温管理 (夏:26～28度、冬:18～20度)	○	節電喚起シール添付等により認識向上が図れた
		OFF時間を設ける (冷房:涼しい朝・夕・夜)(暖房:暖かい日中)	○	気候が厳しい折の室温管理に不十分な一面もあったが、概して管理は良好
		エアコンフィルターの清掃 (毎月第1金曜日)	○	一部の店舗では未実施が発覚したが、概ね良好。 今後も継続実施
		トイレの温便座・温水のOFF(5月～10月)	○	ポスター掲示等により意識の向上が図れた
		トイレの便器の蓋を閉める(11月～4月)	○	
		パソコン未使用時対応 90分以上OFF(それ以下ならスリープ)	○	外出時の対応に注意
		使用場所、業務時以外の消灯 モニターOFFの徹底	○	意識の向上が図れた
		業務の平準化による時間外勤務の削減	△	人員減もあり、一部店舗は改善要
	項目評価	LED照明への切替導入もあり、使用量削減は目標達成できました。 副次的な目標である電気料金削減も前年比87%と良好な結果となりました。		
	化石燃料使用の削減	エコドライブの実施	○	意識は向上した
		引き取り納車の削減	×	業務推進方法は徐々に改善
		PHEV 社有車へのこまめな充電の実施	○	車両設置店での対応は良好
		借上車の「私用」利用時には、自身で給油	○	公私の区別の徹底
	項目評価	実績は目標達成となったが、活動には課題を残す項目もありました。		
	項目評価	目標は達成でき、今後も現在の取組を継続強化していきます。		
水使用量の削減	水使用量の削減	節水の呼びかけによる意識の向上	○	
		漏水の有無の定期的な点検	○	
		洗車時、洗濯時の節水	○	
		入庫車両への過剰洗車禁止の徹底	○	
	項目評価	実績計数は目標を達成できました		

化学物質の適正管理	化学物質の取扱量の適正管理	○	
	有機溶剤等使用の注意事項の遵守	○	
	項目評価	特段の問題も発生することなく、今後も一層の活動定着に努めます	
一般廃棄物の削減	資料の削減・ペーパーレス化による紙使用量の削減	○	社内会議のペーパーレス化の継続推進
	コピー機の効率運用(両面コピーなど)による紙使用量の削減	○	周知方法を配布から回覧へ
	紙ゴミのリサイクル処理による廃棄量の削減	△	分別リサイクル意識の徹底
	項目評価	使用量は着実に減少しているが、分別意識の向上に努めます。	
産業廃棄物の削減	資源ごみの分別の徹底	○	廃油、アルミ等はリサイクル
	産廃コンテナの整理整頓	○	
	マニフェストの管理	○	電子管理は適正
	項目評価	実績計数は目標達成しており、廃棄物の分別も含め意識は向上しています。 また、法令等を逸脱するような取扱いの発生は全くありませんでした。	
環境配慮型車両の 販売台数増加	営業スタッフの商品知識の向上	○	電動車両の関心は弱まっている。
	環境イベント等積極的な参加・出展	△	積極的なアピールを実践する。

8. 環境関連法規制の順守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

(1) 当社に適用となる主な環境関連法規

適用される法規制	要求事項	遵守評価
自動車リサイクル法	引取り業者登録、廃棄車両の適正処理	遵守
廃棄物処理法	廃棄物の適正分別と保管場所の確保	遵守
	マニフェストの保存及び交付状況の確認及び報告	遵守
	廃棄物処理委託業者との契約の締結	遵守
浄化槽法	所管行政庁への設置届け出	遵守
	保守点検基準の遵守	遵守
	清掃基準の遵守	遵守
	法定検査の実施	遵守
下水道法	不適物放流禁止の遵守	遵守
水質汚濁防止法	特定施設の届け出	遵守
フロン排出抑制法	定期点検、点検の記録・保存	遵守
騒音・振動規制法	規制基準の遵守	遵守
消防法	少量危険物貯蔵所の届け出	遵守
	防火管理者の届け出	遵守

(2) 環境関連法規への違反・訴訟等の有無

環境関連法規への違反はありません。なお、関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間ありません。

9. 代表者による全体評価と見直し・指示

2024 年 5 月 31 日

代表者 出口 哲也

(1) 評価

本活動は2020年年初からスタートし、4年の期間が経過した。その期間中の活動結果を踏まえると、一定の活動定着が成し遂げられたと感じている。

活動は、引続き環境経営の重きをなす、電力消費量、化石燃料消費量、廃棄物等の量に対して目標設定達成を目指したものであり、その目標値と 2023 年度実績値との比較を行った。

その結果、電力使用量、化石燃料使用量、廃棄物量等の各種項目とも目標に対して削減が実現でき、活動の浸透、社員の意識付けの向上を感じられる実績であった。ただ、化石燃料使用量の内、軽油使用量が増えたことは事実である。車両販売増加に伴い、車両運搬業務増加の要因が強く、当社の業務活動の増加によるものであり、致し方のない実態と考える。

また、省エネに係る設備投資には積極的に対応した。照明の LED 化の推進、省エネ機材の導入等、ハード面での環境経営目標達成サポート策を実施した。ただ、設備投資は年度後半に大部分を実施しており、目標達成はソフト面である社員各自の取組強化の要因が大きいと、自負できるものであると考える。

地球の温暖化は日々上昇を続けている。世界的な気候変動は大規模な自然災害の一因となっているとも言われている。加えて、コロナ後の世界は、人々の活動が堰を切ったかの様に活発化しており、環境への負荷は増大しているともいえる実態も見受けられる。この様な時こそ環境に配慮した活動の実践が社会のニーズへの最良の回答であり、今後も全社員一丸となり当活動に取り組むことにより、従前の姿を更に発展させたいと考える。

「カーボンニュートラル」の流れは着実に進んでいる。ただ、自動車業界においては、盛り上がりを見せていた欧州の雰囲気にも変化が見受けられるのも事実である。我が国においてもやや関心の低下も現れており、当社においても電動自動車の販売は前年度に及ばなかった実態である。しかしながら、大きな流れとしての車両電動化は否めず、その先進メーカー販売会社として、その歩みを着実に進める必要があると、改めて再認識した次第である。

当社は「三重県 SDGs 推進パートナー」のメンバーである。また、災害発生時の電源確保を目的とした電動車両の提供協定を2018年に三重県と締結し、現在は県内 8 公共団体と締結している。環境にやさしく災害時に役立つ電動車両を積極的に社会に提供していくという方針を継続発展させ、当社企業理念の実現につなげていきたいと考える。

(2) 変更の必要性

環境方針	変更不要
環境目標	2022 年度から新たに目標設定したことから変更不要。
活動計画	基本は変更不要。詳細は適宜見直しを行う。
環境経営システム	変更不要
実施体制	変更不要





環境経営レポート(2023年度版)

発行日:2024 年 6 月 30 日

三重三菱自動車販売株式会社

エコアクション21事務局

〒510-8550

三重県四日市市新正4丁目9番28号

TEL:059-351-7522 FAX:059-354-3116

<http://www.mie-mitsubishi.com/>